

第 90 回紫友まち歩き

神田川クルーズと暑気払い

暑さが異常にきびしい昨今、町中を歩くのはきつい、宿泊を伴うまち歩きは、いろいろ事情があって参加できない。でもまち歩きの仲間と一緒したい……ということで、急遽、泥縄みたいですが、“歩かない「まち歩き」(神田川クルーズ)”を立ち上げました。

前日の天気予報では、雨予報と晴れ予報が交錯し、どうなるかと思っていましたが、当日朝の天気予報では晴れとなり、結果もその通りとなったのでした。

日時：2019年8月31日(土曜日)

集合時間：13時45分

集合場所：日本橋船着場(日本橋のたもと)

参加者：10名

案内人：018 浦城信夫

懇親会：しまね魚市場 主水

懇親会参加者：6名

歩いた歩数：カウントなし

◆歩かないまち歩き行程

日本橋船着場⇒日本橋川⇒神田川⇒隅田川⇒日本橋川⇒日本橋船着場⇒懇親会会場

<スタート>

写真を見ながら楽しんでください……といっても、初めての報告書&写真なので、穴だらけです。

①日本橋船着場(日本橋のたもと)

参加者全員が、集合時間までに集まる。案内人が、クルーズの代金2500円を集金し、乗船券、整理券、コースを描いた団扇などを参加者に渡すが、慣れないことで手際が悪い。

日本橋川、神田川、隅田川の位置関係を知る。



②「神田川クルーズ」開始

早めの団体予約ということで、01-10番の乗船順位を確保。当初、後部の席にしようかと思っていたのですが、係の人に尋ねたら、「それはいちばん前でしょう。」ということで、最前列の席を選択しました。



麦わら帽子の無料貸し出しもありました。



③日本橋川

日本橋付近の再開発は、すごいです。これから日本橋はどのようにかわっていくのでしょうか。こんなにたくさん江戸城の石垣が残っていると知りませんでした。



常盤橋の手前からの見た日本銀行本店です。こんな位置から見るのは、もちろん初めて。東京オリンピックを控えているせいでしょうか、川岸・橋は改修工事だらけです。



④神田川

後楽橋といえば、今年の新年会のすぐそばの橋です。

千代田清掃事務所三崎町中継所というのがあって、下の写真ではたたまれています。ここから千代田区の不燃ゴミをゴミ運搬船に移し替えて、東京湾の埋め立て地に運ぶのだそうです。



水道橋が意外と短いのに驚きました。そして、幅の広い橋をくぐると、緑の美しい景色が現れたのでした。



このあたりが、今回のクルーズでもっとも美しいところでしょう。晴れてほんとうによかった。御茶ノ水駅も、オリンピックを控え、大改修工事が行われていました。御茶ノ水駅は、大学病院がたくさんあるのに、これまで、エレベーターがなく、階段横に、車椅子を運ぶリフトしかありませんでした。



丸の内線の鉄橋の下をくぐります。地下鉄をこのような角度から見られるのは、不思議な感じがします。



「御茶の水分水路」の出口です。ここに入るクルーズが以前にはあったようですが、いまは、「入ると酸欠で危険」の表示があります。



浅草橋あたりには、屋台船がたくさん係留されていました。「20年ほど前に、こんな船に乗って、天ぷらを食べたわ」という人がいました。柳橋をくぐると、隅田川に出ます。



⑤隅田川

隅田川がこれほど大きな川だとは、知りませんでした。船の行き来が多く波もあって、双胴の

クルーズ船でも、けっこうゆれます。最前列なので、水しぶきも浴びます。両国橋を渡る総武線の電車が見えます。



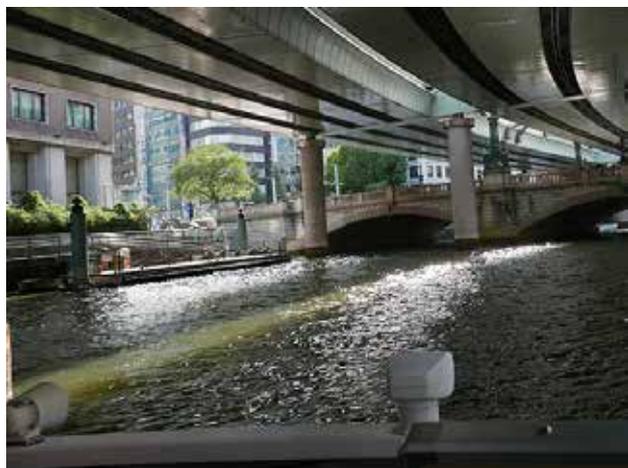
清洲橋をくぐったところで、船がUターンして、スカイツリーを見せてくれました。こちらもオリンピックを控えての改修工事中。リバーシティなるビル群を永代橋の手前から見て、再度、日本橋川に入ります。



⑥再度、日本橋川

波が収まり、ほっとします。日本橋の金融関係

のビルが多い。靉橋から日本証券取引所を見ながら進むと、乗船した日本橋船着場が見えてきます。



⑦日本橋船着場

集合写真を撮、クルーズ会社の人に撮ってもらいました。ここで、懇親飲み会に行く人、行かない人と挨拶を交わします。



⑧懇親会場（しまね魚市場 主水）：16 時前入店

船着場から近い飲み屋に移動。飲み放題コースはやめたので予約なし。まずは、@299 円のビー

ルなどで乾杯。明るいうちから飲める、こういうお店があるのはうれしいです。



意外とおいしい枝豆、不思議な松江おでん5種盛り（上の写真）、鯖の味噌たたき、お通しのバイ貝などの料理と、おいしいお酒、そして、たのしいお話……時間を忘れたひとときでした。



< 終了 : 2019年8月31日 19時17分 >

その他の橋



外濠橋のエンブレム（日本橋川の鉄道橋、大正7年）



きじばし
雉橋（日本橋川の鉄骨造り上路アーチ橋、大正14年）



昌平橋（神田川、遠くに万世橋、大正12年）



とよみぼし
豊海橋（日本橋川、隅田川への合流点。昭和2年）
フィーレンディール橋という形式の橋だそうです。